



学校たより

横浜市立並木中学校

令和8年 8月31日発行

発行者 校長 榎田卓央

所在地 金沢区並木 3-4-1

電話 045(783)5805

「釜石の奇跡」から学ぶ

2年学年主任 中里見 崇史

長い夏休みが終わり学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休み中は、ご家庭での見守りやご支援をいただき、ありがとうございました。

9月1日は「防災の日」です。この機会に、防災について改めて考えたいと思います。

2011年に起こった東日本大震災では、地震と津波により2万2000人以上の方が亡くなり、または行方不明となるという未曾有の被害が発生しました。しかし、その中で岩手県釜石市の小中学生ほぼ全員が、自ら状況を判断し、避難を続けたことで命を守ることができました。この出来事は、「釜石の奇跡」と呼ばれています。その背景には、日頃からの防災教育だけでなく、「自分の命は自分で守る」という意識が育まれていることがあります。子どもたちは、「ここなら安全だろう」と立ち止まるのではなく、「もっと高い場所へ避難しよう」「今すぐ動こう」と、自ら判断して行動しました。

この防災教育の根底には、三陸地方に古くから伝わる「津波てんでんこ」という教えがあります。「てんでんこ」とは「それぞれに」「めいめいに」という意味です。「津波が来たら、家族を探したり迎えに行ったりせず、それぞれがすぐに逃げる」という教えです。しかし、これは決して家族を見捨てるという意味ではありません。その前提にあるのは、「家族は必ず逃げている」と互いを信じることです。親は子を信じ、子は親を信じる。その信頼があるからこそ、一人ひとりが迷わず避難でき、多くの命を守ることに繋がったといわれています。

本校では、2学年で防災学習を実施しています。災害時の避難行動や地域の防災について学び、実際に「身近で起こった場合に自分はどう行動するか」を考える機会としています。また、避難訓練を年に3回行っています。災害は、教科書どおりには起こりません。その時々状況を見極め、自ら考え、周囲と協力しながら行動する力を育てることが、防災学習の大きな目的です。

災害時に必要となる力は、学校生活や日常生活にも通じます。困ったとき、迷ったとき、誰かを助ける必要があるとき、自ら考えて一歩踏み出す力は、子どもたちの将来を支える大切な力です。

防災の日をきっかけに、ご家庭でも避難場所や連絡方法、災害時の行動について話し合っただけであれば幸いです。「家族はきっと避難している」と互いに信じ合えることが、いざという時の大きな安心につながります。

学校でも引き続き、子どもたちが自分の命と大切な人の命を守るために、自ら考え、行動できるよう、防災教育を進めてまいります。

小中ブロック校 共通スローガン【9年間で育てる子ども像】

①自ら考え行動し、課題解決に向かう子ども

②豊かなコミュニケーション力で、積極的に人と関わる子ども

部活動特集 ～生徒代表と顧問より～

並木中学校は、生徒数が少ないからこそ1年生から活躍の場がたくさんあることが特徴です。各部の生徒と顧問の先生に様子を聞きました。



野球部

最初は3校合同で部活をしてきましたが、途中から2校合同となり、10人で活動してきました。少ない人数でも先生方やコーチたちと一緒に楽しく練習してきました。野球部の魅力は何といっても、みんながものすごく元気で面白いところです。試合中にミスをして負けていても、励まし合う仲間思いの一面もあります。最後の大会では市大会上位チームと対戦し、3対2で惜しくも負けてしまいましたが、悔いの残らないような試合でした。

文章：3年生部長

野球経験がほとんどない私が顧問を務めることになり、最初は不安なことばかりでした。本校野球部は部員6名という少人数だったため、他校の生徒4名と合同で、10名のチームとして練習や試合を行ってきました。慣れない仲間と一緒に活動する難しさもありましたが、生徒たちと一緒に悩み、考えながら過ごした日々でした。

野球未経験で入部した生徒もいる中、この2年半で、生徒たちが少しずつ成長していく姿を一番身近で見ることができたことは、私にとって大きな喜びでした。

最後の夏の大会では負けてしまいましたが、自分たちの力を精一杯出し切り、最後はみんなが「いい顔」で終わることができました。保護者の皆様には、さまざまな場面で支えていただき、本当に感謝しております。この夏で野球部は休部となりますが、この2年半で得た経験が、これからの生徒たちの力になってくれることを願っています。(野球部顧問)

サッカー部



上手にできない人もいるけど、みんなぐんぐん成長して上手くなっています。少しずつ練習の強度もあがっていい雰囲気ができるようになってきたのもっともっと上を目指して頑張っていきたいと思います。

部員数が少なく、休日には富岡東中学校サッカー部と合同で試合、練習をしています。その中でチームのレギュラーに選ばれたいという思いもあり、日々練習を積んでいます。

6月の3年生の引退試合では、最後の最後で逆転されて悔しい思いをしたけど、来年の僕の世代の引退試合では悔しい思いをしないように、今の課題を見つめ直して練習していきたいです。応援、よろしくお願いします。

文章：2年生部長

サッカー部は、3年生2名が夏の大会を終え、現在2年生1名、1年生3名で活動しています。ボールを止める・蹴る・運ぶの基本的な技術に磨きをかけ、実践で生かせるようにトレーニングを積み重ねています。去年から富岡東中学校と合同チームを組ませていただき、ハイレベルな環境でサッカーができています。大変ありがたいことです。この環境を力に変えて頑張っていきます。(サッカー部顧問)



バスケットボール部

男子バスケットボール部は、1年生から富岡東中と、女子バスケットボール部は1年生の時は富岡東中学校と、2年生からは関東学院六浦中学校と合同チームを組んで活動してきました。平日は男女で並木だけの練習で個性豊かなメンバーで楽しみながら活動できました。休日は、男子は富岡東と女子は関東六浦と練習してきました。最初はなれなくていつもよりきつい練習だったけどだんだん慣れてきて大会や練習試合で結果を残すことができました。最後の試合には負けてしまったけど、3年間楽しく活動することができたので良かったです。この8人だからこそ、最後までやり切ることができました。今までありがとうございました。
文章:3年生代表

合同チームとして 3 年間バスケットボールの活動に励みました。合同チームゆえに苦労したこともあったと思います。そんな中でも、皆さんのもち前のコミュニケーション力で楽しく活動ができたと思います。3 年間、お疲れさまでした。(バスケットボール部顧問)

吹奏楽部

吹奏楽部は4月に6人の1年生を迎え、計16人で活動しています。日々の練習では、分からないところをパートで確認し合い、難しいところを少しずつ解決していくという、少人数ならではの他学年との関わりが活かされた活動をしています。

7月のサマーフェスタでは演奏ができませんでしたが、校内演奏会では今までの練習の成果を発揮し、皆さんに音楽を届けることができました。

9月に開催される柴マリンフェスタでは、さらに成長した演奏を楽しんでいただけるよう、指導員の方々にご指導いただき、部員一同練習を重ねていきます。 文章:3年生部長



吹奏楽部では、日々の練習や演奏会を通して、一人ひとりが少しずつ成長しています。少人数だからこそ、一人ひとりの演奏技術が求められ、初めは思うように音が出せなかったり、音がそろわなかったりすることもありました。しかし、練習を重ねる中で責任感をもち自分たちで課題を共有しながら演奏技術を高めることができました。

これからも、仲間と支え合いながら人の心に届く音楽を部員全員でつくっていきます。(吹奏楽部顧問)



バドミントン部

バドミントン部は並木中の中で一番人数が多い部活動です。また初心者でも経験者でも一緒に楽しく活動ができる部活です。中学校からバドミントンを始めても上達して、公式戦で勝ち上がっていくことができます。ハードな部活だと思う人がいるかもしれませんが、きつい練習だけではなく、楽しい練習もあります。また、区大会や公式戦にも出場できるので、強くなれば強くなるほど楽しいです。そしてこの部活の一番の強みは、先輩後輩の仲がとても良いことです。 文章:3年生部長

練習や活動の場では、先輩が後輩にやさしくアドバイスをしたり、後輩も遠慮なく質問したりできる「教えあい、支え合う文化」が自然と根付いています。技術の向上はもちろんですが、支えてくれる人への感謝の気持ち、人とのつながりを大切に練習に励んでいます。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご協力、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

(バドミントン部顧問)

美術部

私たち美術部は、3年生6人、2年生6人、1年生8人、計20人で活動しています。活動内容としては、体育祭のテーマに沿った横断幕の製作を部員総出で行ったり、夏の美術部展で一つテーマを決め、その中で絵を描いたり、立体作品をつくったりしました。今後は、文化祭の展示の部で作品展示を行う予定です。そのほかにも地域の小学生との交流や、美術館見学などの活動も行っています。よりよい作品をめざして部員全員で日々活動しています。

文章:3年生部長



美術部は総勢20名の部員で日々楽しそうに活動しています。夏の横浜市中学校美術部展に見に来てくださった方々、ありがとうございました。作品は校内展示も致します。次は10月の文化発表会！3年生を中心に、さらに磨きをかけた作品をお届けいたします！（美術部顧問）

バレーボール部

バレーボール部の一番の魅力は、学年の壁がなく、明るく楽しい雰囲気の中で活動ができることです。部員全員が仲良く、困ったときには支え合い、アドバイスを送り合いながら一人ひとりが上達を目指して頑張っています。またプレーの面では「全力」を意識し、練習や試合に取り組んでできました。私自身、部長として仲間とともに活動してきた中で、大会で大きな結果を残せなかった悔しさもありました。しかし、それ以上に仲間と過ごした時間や支え合ってきた経験はかけがえのないものです。引退した今、心から「この部活でよかった」と思っています。そして後輩たちにも、卒業や引退の時に同じように思える部活を作ってほしいです。文章:3年生部長



3年生が引退し、部員は2年生2人、1年生3人の5人になりました。秋季区大会参加が危ぶまれた夏の始まりでした。さまざまな部活から協力者をお借りして、無事に区大会への参加が可能となりました。協力してくれた生徒のみなさん、ご理解いただいたご家族のみなさまや先生方、引退しても大会に必要な道具の貸し出しに協力してくれる3年生。私たちだけでは絶対に参加できなかった区大会です。いつも周りのみなさんへの感謝とリスペクトを胸に、これからも取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございます。（バレーボール部顧問）

ソフトテニス部

ソフトテニス部は、1年生4人、2年生4人、3年生1人の計9人で、「やると時はやる」と、メリハリをつけながら、楽しく活動しています。私たちは日々、風間先生からスキルのご指導や松尾先生の応援練習のサポートの下、活動できています。先生方に支えられ、3年生の引退試合の団体戦では勝つことができました。これからは2年生と1年生で頑張ることは、試合に勝つことです。日々の練習やご指導を大切にしながら、個人戦や、私たちの良さを生かした団体戦でも「市大会出場」を目標とします！市大会出場だけではなく、県大会など、さらに上を目指すソフトテニス部になっていきたいです。文章:2年生代表



生徒たちは日々の練習に前向きに取り組み、着々と力をつけています。生徒たちが部活動を通して成長できるよう、また良い思いができるよう支援していきます。（ソフトテニス部顧問）